

木古内町教育委員会々議事録

開催月日	令和6年6月28日(金)	第6回 教育委員会
時 間	11時20分～12時30分	
出席委員	藤澤義博、工藤嗣美、竹田光伸、仁禮秀嗣、古城美佳	
欠席委員		
事務局	加藤生涯学習課長、学校教育G敦澤主査、社会教育G太田主査	
会 議 内 容	○ 会議録の承認について 令和6年第5回教育委員会会議録 承認 ○ 報告事項 第1号 教育長諸報告 1. 5月28日開催の第5回委員会以降の会議等出席状況報告 中学校体育祭・小学校運動会、いずれも寒い中だったが予定通り開催し、無事に終了した。この間、大学の方に出向き、教員のなり手不足も含め、人材育成や教員の資質・能力向上に繋げるべきと考え、道内の教員養成課程を持っている大学を訪問した。色々な現状を含めて関係構築に努めている。6月22日23日2日間は教育長を対象とした教育行政トップリーダーセミナーいわゆる教育長研修会というものに参加し中身の充実した研修カリキュラムを受講した。学びの多い2日間であった。 (竹田委員) 6月25日に司書オンライン面接とあるが、採用となったのか？ (加藤課長) まだ決まっていない。 承認 第2号 地域プロジェクトマネージャー兼教育CIO補佐官の採用について (加藤課長) 募集を行い、地域プロジェクトマネージャーの採用が決定したので報告する。氏名は森山正明さん、年齢55歳で出身は東京都の方、採用年月日は7月1日となる。職名は町からは地域プロジェクトマネージャーという事で任命を受け、教育長より教育CIO補佐官の委嘱となる。略歴は記載のとおり。今後は様々な教育施策の中心となり、各機関との橋渡し等、調整を行っていただきながら、重要施策についての課題解決等に向けてご尽力いただく。後日、着任された際に皆さまへ改めてご紹介をしたい。 (藤澤教育長) 臨時会の議決後から公募をさせていただき、本当に良い人材に来ていただいた。初めての北海道勤務という事になり不安な気持ちもあるかと思うので、教育委員の皆さんにもコミュニケーション含めサポートいただければ。 (竹田委員) 今までの仕事を完璧に辞めて、この仕事に専念する？ (藤澤教育長) はい。それが採用条件になっている。 (仁禮委員) 今後の木古内町の教育全般に関して、色々な具体案が出される際に中心になるという事か？ (藤澤教育長) 採用に至った経緯について、今後の教育の取り組みにおける課題として1つは小中一貫カリキュラムを構築していく事。ふるさと学、きこない学を連携した9年間で具現化していこうという事で、小中9年間を見通したカリキュラム	

作成委員会を7月から立ち上げ、今年度12月1月を目処に作っていく。もう1つは部活の地域移行、昨年度経産省の実証事業を受け、西部四町と連携しながら部活の地域移行の在り方について検討してきた経緯がある。その成果として拠点校方式として当町にはなかったバスケットボール部を子ども達が望んだ場合に拠点校の福島中で参加する事ができるという事でスタートした。今も実際に参加している生徒がいるという現状があり、四町の広域的な取り組みの1つの成果と思っている。今後は木古内町単体での部活の地域移行を検討していく必要がある。この度、採用となる森山さんは社会科の教員免許をもっており、ICTのスペシャリストでもあるので小中学校の弱い部分をサポートし補っていくようなブリッジ人材という事も含めて取り組んでいただく。ホームページの制作事業についても内部でプロジェクトを立ち上げ、学校とも連携しながら取り組んでいただく。

(古城委員) たとえば英語だと幼児期がすごく大事な時期と個人的には思っていて、2歳3歳の幼児期に好奇心の扉を作るっていうのをタブレットではなく、実体験で五感を通してそういう機会を作るのがその後の学習に影響があると個人的には思っている。そうすれば学力にも繋がっていくのではないかなと。

(藤澤教育長) 古城委員がおっしゃるとおり、幼児教育がとても大事なんですが、今大変弱くなっていて、保育と幼児教育とでは違いがあり、保育士は教育者ではないし、6歳までの本当に1番大切な年度に教育を入れられない現状にある。認定こども園は首長部局の管轄になり教育委員会は関係する事が難しい状況にある。ただ、小さい町ならではと思っているので0歳から18歳までこの地域で育てていくというのが1番理想と思っている。来月総合教育会議の開催も予定されているので、ぜひそういったご意見を出していただければ、子ども達にとってより良い教育環境が作れるのではないかなと思う。

(仁禮委員) 色々な視点があると思うが、木古内町のこれまでの流れを考えると、反対意見を出す力も湧いてこない状況がある。新しい事をやろうとする時に、乱暴に進めずに3歩進んで2歩下がってもいいので、色々な方の意見を聞いて小さい会議を重ねてゆっくりゆっくり色々な意見を活かされる様に進めるのがいいと思う。

(藤澤教育長) コロナによって足を運んでいただけない時期もありましたので、開かれた教育委員会としてタウンミーティングなんかも、出来たらいいと思っている。気をつけながら進めていきたい。

承認

○協議事項

第1号 令和6年度第1回木古内町教育総合会議について

資料をもとに加藤課長より説明

(工藤委員) 研究大会資料は教育長から町長に話せばいいだけであってこれに対し教育委員がどうこうする訳ではなく、かえって部活動の地域移行の方が大事と思う。CIO補佐官が事業へ携わる部分だとか、今後少子化が進んでどんどん子どもが少なくなってくる。なのに国からのハードルがどんどん高くなっていく中で、年間600万円を払って木古内町はこういう教育をする。小中連携もさることながら、我々が意見を言えそうな内容にして欲しい。一度集って協議をしてから町長どうですか？と。教育のトップは町長なので、それに対し教育委員会は何をしているのか、教育委員の考えを知りたいというのが総合教育会議の趣旨だと思う。もう一度

テーマを考えて部活動でもカリキュラム検討でも、意見の委員を集約して教育委員会はこちら考えてますというのがいいと思う。

(加藤課長) 昨年度の総合教育会議が終わったあと、いつも要望会のようになっているので、出来れば町長の教育に関する意見を聞きたいという事だった。部活動・カリキュラムは森山さんの知見を活かしながら関係機関と協議しながら進めていく状況になる。もう少し掘り下げて協議する必要はあるかと思う。

(工藤委員) 初めて木古内に来る方が、関係各所と調整は大変と思うので、周囲のフォローは大事だと思う。地元の方とコミュニケーションを取りながらやらないと。

(竹田委員) デジタルとかICTと言っても、結局は人と人だから。
(藤澤教育長) 私も一緒になり、もっと地域に溶け込んでいくよう努力させていただくので、よろしくお願いします。

(工藤委員) 部活動に関しての現状、保護者からこういう話があるだとかの意見は言えるのでは？

(加藤課長) 業務としては教育委員会の仕事となるので、こういう意見もあります。というのはいいと思う。

可 決

第2号 教育CIO及び教育情報化推進委員会設置要綱案について

(加藤課長) 現在、ICT連絡協議会というものがあり、学校現場と教育委員会がICTに関する情報共有をしている。このたび、7月1日から教育CIO補佐官が着任される事から、委員会の目的や役割を明確にするもの。今までの協議会を昇華させた組織を設置する要綱となる。

(藤澤教育長) 今までは3~4ヶ月に1回という形で開催していたが、なかなか教員のスキルの所に結びつけられるような活動ができなかった事があったので、私が委員長となり、組織立てを明確にし、よりICTを進めていくもの。

○その他

第7回教育委員会の日程確認について

日時：令和6年7月22日（月） → 変更し7月25日（木）へ

署名委員

古 城 美 佳 印